

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人上島町社会福祉協議会

## はじめに

近年、我が国においては社会構造の変化に伴い、高齢者、障がい者だけではなく生活困窮者、社会的な孤立状態にある方々など、支援を必要とする人々を取り巻く課題は多様化・深刻化しています。また、大規模な自然災害による甚大な被害も想定されており、平時からの地域における支え合いの仕組みづくりがますます重要になっています。

そうした中で、本会では「みんなで支えあう島 ふれあいのまちづくり」をスローガンに、住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合いながら生活できる地域コミュニティの構築に向けた活動に取り組みました。

令和元年度は、「ふれあいいいききサロン」や「ENGAWA」など、住民主体による誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりの充実に加え、新たな住民による相互の支援活動の開始に向けた支援も行いました。また、心配ごと相談窓口を常設するなど個別の課題を抱える方を、生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業などへ繋げる包括的な相談支援の体制も整えました。

今後は、住民、専門職、多機関が分野を超えて課題に取り組み、より多くの地域住民が支え合い活動の担い手として活躍できる地域づくりを目指します。これまで住民の皆様をはじめ、関係機関・団体に感謝いたしますとともに、今後も更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。令和元年度の事業報告をいたします。

令和元年度における本会の事業を次のとおり報告します。

## 1. 法人運営事業

### (1) 法人運営事業

名称	回	開催日 開催場所	出席/ 定数	協議内容
① 理事会	第1回	令和元年6月10日 生名テイク・ビスセンター	13/15	①平成30年度事業報告書の承認について②平成30年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和元年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④評議員候補者の推薦について⑤令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の開催日時等について⑥令和元年度第1回評議員会の開催日時等について
	第2回	令和元年6月24日 生名テイク・ビスセンター	13/15	①任期満了に伴う会長、副会長の選定について
	第3回	令和2年3月10日 生名テイク・ビスセンター	13/15	①令和元年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について②令和2年度事業計画書(案)について③令和2年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について④評議員候補者の推薦について⑤令和元年度第2回評議員選任・解任委員会の開催日時等について⑥令和元年度第2回評議員会の開催日時等について
② 評議員会	第1回	令和元年6月24日 生名テイク・ビスセンター	20/25	①平成30年度事業報告書の承認について②平成30年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和元年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④理事及び監事の選任について
	第2回	令和2年3月27日 生名テイク・ビスセンター	25/25	【決議の省略】 ①令和元年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について②令和2年度事業計画書(案)について③令和2年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について④監事の選任について
③ 監事会	第1回	令和元年5月17日 生名テイク・ビスセンター	1/2	①平成30年度における業務の執行状況及び財産の状況
④ 評議員選任・解任委員会	第1回	令和元年6月17日 弓削引野地区集会所	3/3	①補欠評議員の選任について
	第2回	令和2年3月17日 弓削引野地区集会所	3/3	①補欠評議員の選任について

## ⑤ 社協会員の募集

各地区において、自治会、地区社協、理事・評議員の協力により、社協会員の募集を行った。

地区	一般会員 (1,000円)	賛助会員 (3,000円)	法人会員 (10,000円)	特別会員 (町外者)	計
生名	193,000	3,000	0	0	196,000
岩城	648,000	0	150,000	0	798,000
魚島	85,000	0	0	0	85,000
弓削	604,000	9,000	100,000	30,000	743,000
計	1,530,000	12,000	250,000	30,000	1,822,000

## 2. 地域福祉推進事業

### (1) 企画・広報事業

社協活動の効果的な推進を図るため下記の広報活動を行った。

- ① 機関紙「社協だより」の発行 4回全戸配布 (4月・7月・10月・1月)
- ② 「社会福祉の架け橋」の発行 4回全戸配布 (5月・6月・8月・9月)
- ③ 「かみじま福祉フェスタ2019」の開催

○令和元年11月17日(日) せとうち交流館

○スローガン『みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり』

○トークセッション『あらゆる世代が支え合う島をめざして』

〈コーディネーター〉

聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 教授 高杉公人 氏

〈登壇者〉

子育てサロンおひさま 村上 和子 氏

かみじまみんなの食堂 中西 智恵 氏

ボードゲーム研究会 大谷 信二 氏

### (2) 総合相談事業

事業の名称	事業内容	実績
①一般相談事業 (心配ごと相談事業)	住民の抱える様々な相談に応じ適切な助言・援助、関係機関への連絡・調整を行い福祉の増進を図る。	相談件数：15件
②生活困窮者 ・自立相談支援事業 (愛媛県受託事業)	積極的な訪問支援や地域ネットワークの働きかけにより、生活困窮者を早期に把握し、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者が制度の狭間に陥ったり、生活保護の適用を受けることにならないよう、相談員が本質的な課題解決に向けた支援活動を行う。また、離職等により住宅を失った生活困窮者等に対し、家賃相当の「住居確保給付金」の支給を受けるための支援を行う。	新規相談：10名 うち、 プラン作成：1名 住居確保：0名 家計相談：1名 就労支援：0名
・家計相談支援事業 (愛媛県受託事業)	家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早	3月末継続支援者数：9名

	期に生活が再生されるよう支援を行う。	
③生活福祉資金貸付事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	低所得者、障がい者等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉の促進と安定した生活を図る。	相談者数：8名 貸付件数：1件
④臨時特例つなぎ資金貸付事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	離職者であり、住居のない者に対し、公的貸付開始までの資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉の促進と安定した生活を図る。	相談者数：0名 貸付件数：0件
⑤福祉サービス利用援助事業	在宅で生活をされている方で、判断力が十分でない認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、利用料の支払い等の支援を行う。	相談者数：1名 利用者数：1名 利用回数：1回
⑥法人後見事業	上島町の住民で障がい等により物事を判断する能力が十分でないと思われ、援助が必要とされる要支援者で、家庭裁判所の審判で成年後見人等が必要であると認められた場合、引き受け手がいない要支援者の権利を擁護するために、法人後見人等として援助を行う。	相談者数：1名 利用者数：1名 利用回数：4回

### (3) 地域活性化等事業

#### ① 地区社協運営事業 (弓削)

地区社協会長会の開催 (せとうち交流館)

回	開催日	出席者	協議内容
第1回	令和元年7月31日	4名	1. 社協会員の募集について (依頼) 2. その他
第2回	令和2年3月30日	4名	1. 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画等について 2. 令和2年度交付金交付及び令和3年度以降の助成金への変更について 3. ボランティアに関する保険の加入に係る変更について

#### ② 福祉用具リサイクルサービス

家庭で使わなくなった福祉用具を提供する者とリサイクルを希望する者を本会情報誌で情報提供を行うことにより、福祉用具等の有効活用を図り地域福祉の推進に寄与することを目的として実施した。

機器等の名称	提供者数	希望者数
チャイルドシート	3	8
シニアカー	3	5
シャワーチェア	2	7
車いす	2	4
ポータブルトイレ	2	2
ベビーチェア	2	2
浴槽台	1	2

浴槽手すり	1	1
ジュニアシート	1	1
歩行杖	1	1
おまる	1	1
合 計	19	34

### ③ 福祉機器貸出事業

介護認定において、自立の者や障がい者等を対象に、必要に応じて各地区で保有している福祉機器等を無償で貸し出し福祉の増進を目的に実施した。

機器等の名称	貸出件数
車 い す	25
ポータブルトイレ	4
歩 行 器	0
チャイルドシート	0
ベ ビ ー シ ー ト	0

### ④ 地域福祉活動計画の推進

「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」を理念として、行政、関係機関・関係団体・ボランティア団体等と連携して、幅広い住民の参加のもと、支え合いによる地域づくりにおいて、次の取組みを行った。

項 目	内 容
取り組み内容	魚島地区における基本計画「地域での支え合い活動の推進」
実施内容	地域住民との座談会を3回開催し、地域住民を担い手とする生活支援有償ボランティア「魚島てご屋」を開始した。 ・「魚島てご屋」の実施件数17件、延活動従事者数20名

## (4) 共同募金関係事業

### ① 赤い羽根共同募金運動

10月～12月に行われる共同募金運動に伴い、自治会等を通じての住民や、学校等の協力を得て、募金運動を実施した。

目標額：1,200,000円 募金額：1,151,590円 達成率 96.0%

### ② 配分金事業

#### ア) 老人福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
ふれあい交流会	令和2年2月13日	弓削小学校2年生と高齢者が昔の遊びを通じて相互の親睦を図り、世代間の交流を図った。	弓削小 17名 老人クラブ 10名
高齢者と子供のためのクリスマス会	令和元年12月17日 令和元年12月18日	魚島・高井神地区において教育振興会との共催によるクリスマス会を開催した。(高井神はプレゼントの配付のみ)	魚島 53名 高井神 9名

・ふれあいいきいきサロン事業

高齢者の閉じこもりの防止、生きがいづくりを目的に、ボランティアの協力でふれあいいきいきサロンを実施した。

地区	サロン名称	開催場所	実施回数	延参加人数
生 名	ひまわり	立石港2階	1 2	4 8
	りふれっしゅ	3分団集会所	1 1	5 8
岩 城	やすらぎ	岩城開発センター	1 0	1 9 0
	なでしこ	長江公民館	1 2	5 2
弓 削	しおさい	せとうち交流館	1 0	6 3
	あかり	弓削老人福祉センター	1 8	1 0 9
	すこやか	弓削開発センター	1 0	6 6
魚 島	ひだまり	魚島東集会所	8 8	4 7 2
	ひだまり	高井神集会所	1 1	4 4
合 計	9カ所		1 8 2	1, 1 0 2

イ) 障がい者福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
身体障がい者交流会	令和元年11月27日	町内の身体障がい者を対象に、レクリエーションを通して交流を深めることを目的として実施した。	30名

ウ) 児童福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
福祉体験学習 (魚島小は隔年実施)	令和元年6月14日	高齢者疑似体験、車いす体験を行い、高齢者や車いす使用者に対する知識や理解を深めた。	岩城小6年9名
	令和元年6月17日		生名小5,6年8名
	令和元年6月18日	高齢者福祉施設へ訪問し、高齢者とのコミュニケーションについて学んだ。	岩城小6年9名
	令和元年6月25日		生名小5,6年8名
	令和元年7月5日	「災害と福祉」をテーマに講義を行った。	弓削小6年16名
少年式記念品	令和元年2月4日	中学校2年生を対象に少年式で記念品を贈呈した。	岩城中13名 弓削中23名 魚島中0名
かみじま郷土大楽 学び楽部	令和元年8月24日	「食と歴史を学ぶ」として、濱田哲久氏による燻製体験・婦人会による鯛飯調理体験等を通じて交流を図った。	小学生13名 婦人会5名
保育所卒園記念品	令和元年3月27日	保育所を卒園される園児に記念品を贈呈した。	生名 9名 岩城 16名 弓削 14名 魚島 0名

エ) ボランティア関係事業

地域でボランティア活動を推進する団体の、活動中の事故に備えての保険加入の促進を行った。

地区	生名	岩城	弓削	魚島	合計
加入団体	3	5	11	0	19
加入者数	8	83	141	0	232

③ 歳末たすけあい運動

12月に行われる歳末たすけあい運動に伴い、民生児童委員の協力を得て街頭募金を行った。

実施日	場所	募金額
令和元年 12月 11日	弓削（生協・Aコープ前）	104,977 円
令和元年 12月 12日	生名（生協・生名立石公務所前）	
令和元年 12月 13日	岩城（JA岩城支店周辺）	

④ 歳末たすけあい募金配分金事業

事業名	内容	対象人数(前年増減)
独居高齢者見守り事業	民生児童委員の協力を得て、町内に在住する85歳以上の独居高齢者を訪問し、安否確認等の見守り活動を行うと同時に、見舞品を配付した。	生名 35名(-6) 岩城 34名(+2) 弓削 81名(-6) 魚島 10名(+2)

⑤ 災害備蓄品の整備

災害に備えて備蓄した。(アルファ米 550食)

3. 介護保険サービス関係事業

(1) 訪問介護事業		延人数	延回数
① 訪問介護事業 (上島町社協訪問介護事業所)	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行う。	719	9,432
② 総合事業 (上島町社協訪問介護事業所)	事業対象者・要支援1・2と判定された者と利用契約を締結し、訪問介護員が利用者の居宅において介護予防を目的として、介護その他の必要な日常生活上の支援を行う。	424	2,109
③ 生活支援ホームヘルプサービス事業 (上島町受託事業)	基本的な生活習慣が欠如し、社会参加が困難である介護給付の対象とならない高齢者等に対しヘルパーを派遣し、日常生活に対する指導及び支援を行い、要支援・要介護状態への移行を予防する。	0	0
(2) 居宅介護支援事業		延人数	延回数
① 居宅介護支援事業 (上島町社協居宅介護支援事業所)	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、介護保険サービスを利用する者の居宅介護サービス計画の作成、在宅サービス事業者との連絡調整や介護保険施設の紹介等のケアマネジメントを行う。	1,785	-



② 介護予防居宅介護支援事業 (上島町受託事業)	上島町地域包括支援センターから委託された要支援1・2の者の介護予防プランを作成し、適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を行う。	208	-
(3) 通所介護事業		延人数	延回数
① 通所介護事業 (上島町社協<生名・岩城・弓削>通所介護事業所)	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、施設において利用者が可能な限り、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう必要な日常生活の世話、機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消、心身の機能の維持、家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。	生名：400 岩城：456 弓削：389	生名：3,409 岩城：3,593 弓削：3,501
② 総合事業 (上島町社協<生名・岩城・弓削>通所介護事業所)	事業対象者・要支援1・2と判定された者と利用契約を締結し、施設において介護予防を目的として送迎、入浴、レクリエーション等のサービスを提供し、日常生活動作の維持・向上を行う。	生名：103 岩城：188 弓削：140	生名：649 岩城：906 弓削：844
③ 生きがい活動支援通所事業 (上島町受託事業)	家に閉じこもりがちな介護給付の対象とならない高齢者等に対し、通所介護サービスの提供により、高齢者の社会参加を促進するとともに社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を行う。	生名：0 岩城：0 弓削：0	生名：0 岩城：0 弓削：0
(4) 障害福祉サービス事業		延人数	延回数
① 特定相談支援事業 (上島町社協居宅介護事業所)	障害福祉サービスの受給資格を有する障がい者と利用契約を締結し、サービス等利用計画を作成し、適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を行う。	41	-
② 居宅介護事業 (上島町社協居宅介護事業所)	障がい者及び障がい児と利用契約を締結し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行う。	114	986
③ 移動支援事業	屋外での移動に困難がある障がい者及び障がい児について、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すための支援を行う。	42	223

#### 4. 生活支援体制整備事業（上島町受託事業）

生活支援コーディネーターが日常生活上の支援が必要な高齢者等に対し、住み慣れた地域で生きがいを持ち在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図った。

##### (1) 地域課題の協議

- ① 岩城地区において住民による地域課題の掘り起こしや課題解決に向けた座談会を定期的に開催した。生活支援有償ボランティア活動の強化などについての協議を行った。
- ② 魚島地区において住民主体による支え合いの仕組みづくりを行うための座談会を行い、生活支援有償ボランティア活動を開始した。

##### (2) シニアサポーター団体の活動支援

###### ① ささえ愛隊（生名・弓削）

弓削地区の ENGAWA で月に1回開催中の『ささえあい隊つどいの場』、生活支援

有償ボランティア『ささえ愛隊のてごう』の他に、地域の交流拠点としての ENGAWA の活用のための支援を行った。

②ハートリーフ（岩城）

高齢者を中心とした地域住民の居場所づくり活動『ハートリーフの会』の実施の他に、いわぎ桜まつりへの手芸品などの出店や、生名・弓削地区の『ささえ愛隊』とのシニアサポーター交流会の企画などを行った。

(3) 地域資源の開発と発掘

①かみじまみんなの食堂（弓削）

地域住民の「ボランティアによる地域食堂を実現したい」という提案を受け、食を通じて地域住民が交流することを目指す居場所づくりを、地域資源として定着させることを目指し、企画段階から協力した。

5. 指定管理事業（公益事業）

(1) 施設の管理運営

指定管理者制度による上島町の条例及び協定書に基づき、次の施設の管理運営を行った。

- ・上島町生名デイサービスセンター（上島町生名2133番地3）
- ・上島町岩城高齢者生活福祉センター（上島町岩城2239番地）
- ・上島町弓削高齢者生活福祉センター（上島町弓削上弓削1907番地1）

(2) 地域拠点整備事業

岩城地区及び弓削上弓削地区において、岩城・弓削高齢者生活福祉センターを地域の誰もが気軽に集まることのできる「居場所」とすることで、地域住民の交流の場とし、引きこもり、孤立の防止、生きがいづくり、見守りなど、誰もが安心して暮らしていける地域づくりの拠点を整備、運営の支援を行った。

- ①上島町岩城高齢者生活福祉センター
  - ・子育てサロン、絵画教室、手芸、ハートリーフ、さくらカフェ 延2,354人
- ②上島町弓削高齢者生活福祉センター
  - ・企画検討会議や施設の整備を行った。

6. 福祉有償運送事業（公益事業）

要介護者及び身体障がい者等で、単独では公共交通機関を利用することが困難な者を対象に、社会参加の機会の確保や日常的な外出支援等を行うことを目的として実施した。

地区		年間合計	月平均
生名	人数	84	7.0
	回数	284	23.6
岩城	人数	157	13.1
	回数	360	30.0
弓削	人数	237	19.8
	回数	852	71.0

## 7. その他の事業・活動

### (1) 日本赤十字社の会員募集

5月に行われる日本赤十字社会員増強運動に伴い、日赤奉仕団、地区委員等の協力を得て、会費を募った。

目標額：983,000円 会費総額：1,263,000円 達成率 128.5%